

第197号(昭和34年7月20日) 昭和50年1月10日(毎月10日発行)  
第3種郵便物認可

広報

# かわにし

発行 川西町・町長 横津正三 編集 企画室広報係 小海正隆 定価 1部5円 印刷 白南風社

## 人口の動き

1月1日現在

男 5,177(+7)

女 5,250(-3)

計 10,427(+4)

世帯数 2,353(+2)

( )内は前月との比較



## 元旦マラソン大にぎわい

### 1月の休日救急医

(急患以外は受付しません)

1月12日	池田 医院	TEL ② 2581
1月15日	山口 医院	TEL ② 2174
1月19日	富田 医院	TEL ② 3264
1月26日	庭野 医院	TEL ② 2711

午前9時から午後5時までの時間を厳守してください

かねて計画の元旦マラソン大会は、新春にふさわしく快晴につつまれ、大盛況でした。

幼児から老人まで、参加者はおよそ150名、沿道の人たちの声援の中で力走が展開され、快適な新年のスタートぶりが伺えました。



# 10億円の決算が

## 48年度一般会計

16,946円 (1.6%)	議会費
241,683円 (22.6%)	総務費
104,473円 (9.8%)	民生費
54,670円 (5.1%)	衛生費
186,039円 (17.4%)	農林水産費
11,728円 (1.1%)	商工費
145,800円 (13.6%)	土木費
43,164円 (4.0%)	消防費
199,791円 (18.7%)	教育費
20,964円 (2.0%)	災害復旧費
41,548円 (3.9%)	公債費

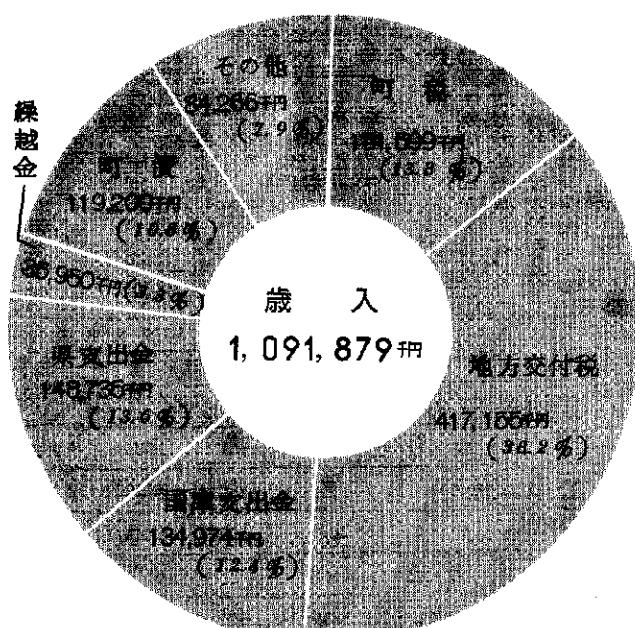
## (主な事業・単位 円)

高倉松葉平給水工事	5,000
総合センター建設	64,000
広域事務負担金	5,846
衛生施設組合負担金	5,282
.....など	
老人医療費扶助	18,769
児童手当	8,931
.....など	
簡易水道会計へ	10,483
.....など	
土地基盤整備補助	10,000
2次構補助	107,707
林道開削	7,290
.....など	
産業育成資金貸付	4,000
.....など	
町道改良舗装	67,454
同用地・物件補償	11,480
ロータリー除雪車購入	9,670
.....など	
広域消防負担金	43,164
.....など	
仙田小建設	83,700
橋小グランド工事	8,000
川中グランド工事	6,351
.....など	
農林水産施設災	7,215
公共土木施設災	9,810
.....など	
元金	24,256
利子	17,292

## 48年度の一般会計は

歳入 = 10億9,187万9,126円  
歳出 = 10億6,680万6,159円  
差引 = 2,507万2,967円  
となりました。

その概要は次のとおりです。



## 町民1人当たり

歳出決算額 ..... 10万2,169円  
町税負担額 ..... 1万4,546円  
国県への依存財源 ..... 6万8,609円  
町債(借金) ..... 1万1,438円

の助成もやぶさかでない。  
青年学級活動や、OBの方から  
の指導助言をいたぐなどして、  
振興策について考えたい。  
田中与三郎氏 ①交通事故撲滅  
策の新しい着想の有無 ②自動車  
の保管場所の法律施行とともに違う  
道路管理の方針 ③町の遊園地造  
成について ④駐車場造成急務の  
問題 ⑤交通安全教育の徹底と、  
交通三悪追放の町独自の教育方針  
の構想 ⑦行政事務分業と、職員方  
針の適否、類似他町村との比較  
問題 ⑧行政事務合理化の問題点と改革  
の構想 ⑨行政機関の改革の是非につ  
いて ⑩モラルの向上を指導したい。  
町長 交通事故の関係は、当面死  
亡事故ゼロを継続することが、最  
大の目標である。運転者、歩行者  
のモラルの向上を指導したい。  
①千手地内県道の全面駐車禁止や  
事故多発地点の実状調査、安全  
設置の設置に努めたい。②この法  
の目的は、道路使用の適正化、  
滑化である。今後の道路の改修  
あたっては、車を対象とした構  
造への移行が大切だと考えている。  
③当面は遊園地造成は考えてい  
ない。④駐車場の必要性は認めて  
おり、総合開発の中でも計画して  
いる。適地の確保等皆さんからも  
協力願いたい。⑥交通安全教育  
指導員、協議会等を中心に、幼稚  
から老人まで各種の機会をとら  
れて、指導して行きたい。⑥⑦⑧  
的な事業の導入が必要である。  
然なことと考える。当分は、現  
の機構によって、最大限の能力  
が發揮できるよう、努めたい。

の助成もやぶさかでない。  
青年学級活動や、OBの方から  
の指導助言をいたぐなどして、  
振興策について考えたい。  
田中与三郎氏 ①交通事故撲滅  
策の新しい着想の有無 ②自動車  
の保管場所の法律施行とともに違う  
道路管理の方針 ③町の遊園地造  
成について ④駐車場造成急務の  
問題 ⑤交通安全教育の徹底と、  
交通三悪追放の町独自の教育方針  
の構想 ⑦行政事務分業と、職員方  
針の適否、類似他町村との比較  
問題 ⑧行政事務合理化の問題点と改革  
の構想 ⑨行政機関の改革の是非につ  
いて ⑩モラルの向上を指導したい。  
町長 交通事故の関係は、当面死  
亡事故ゼロを継続することが、最  
大の目標である。運転者、歩行者  
のモラルの向上を指導したい。  
①千手地内県道の全面駐車禁止や  
事故多発地点の実状調査、安全  
設置の設置に努めたい。②この法  
の目的は、道路使用の適正化、  
滑化である。今後の道路の改修  
あたっては、車を対象とした構  
造への移行が大切だと考えている。  
③当面は遊園地造成は考えてい  
ない。④駐車場の必要性は認めて  
おり、総合開発の中でも計画して  
いる。適地の確保等皆さんからも  
協力願いたい。⑥交通安全教育  
指導員、協議会等を中心に、幼稚  
から老人まで各種の機会をとら  
れて、指導して行きたい。⑥⑦⑧  
的な事業の導入が必要である。  
然なことと考える。当分は、現  
の機構によって、最大限の能力  
が發揮できるよう、努めたい。

△答申する小林会長▽

## 総合開発

## 「緑の町、豊かな町」を

## 第一次から継承

## (完成した第2次5か年計画、概要)



町の総合開発第二次5か年計画ができあがりました。  
審議会が、昨年一年間を費やしあらる角度から、行政政  
の方向を見きわめた、英知の結集とも言われるものです。

十二月九日に町長に答申され、翌十日の議会において議決  
今後町政の振興策の指針とされたことになりました。  
この計画は、四十九年度を初年度としているもので、六十  
年の町の姿を見通した基本構想と、今後五年間に予定され  
る事業を総括した基本計画、さらに、この三年間に実施すべ  
き具体的な事業をかかげた実施計画の三つによつて構成され  
ています。これらは、ローリングシステムといって、毎年  
度ごとに内容の再検討を行い、より完璧なものへと練り直さ  
れることになります。したがつて、部分的には、多少の変更  
も考えられますが、しかし、大筋としては、計画にそつた行  
財政が運営されます。

答申された全てを掲げることはできませんが、その大  
要について、今月から数回に分けてお知らせします。

## 町民の総力の中で

## 明るい楽しい町づくりを!!

最近の経済発展に伴い、都市、農村を問わず生活水準の向上は著  
しい。そのため、行政需要の伸びや、近代的な地域づくりが強く  
要望されてきている。こうした中で、総合計画を策定し、町民の総  
力を結集して、産業、経済、文化などを総合的に充実し、明るい豊  
かな町民生活をつくりあげることを目標とする。

具体的な施策は、次による。

## 一、基礎的条件の整備

町の道路網の整備は、生活の根  
幹をなすものとして、早急に整備  
が必要である。

国道二五二号線、主要地方道な  
治山治水などの事業を実施し、情  
(交通体系の整備)

## 四、消防防災

広域消防体制の充実とあわせ、  
各地区的消防施設を増強する。  
特に、地すべり、なだれ防止、  
水害対策などを実施し、情

## (安全施設の整備)

主要道路の完全無雪化、住居連  
たん地域の消防施設の充実、除雪力  
機械の計画的配置により、除雪力  
の強化をねらう。

## (雪の克服)

米、たばこ、肉豚、乳牛、など  
を基幹とし、生産性の高い農業確  
立のため、基盤整備、第二次構造  
改革事業の早期完成を目指す。

## (農林水産業)

仙田地区は、中・小規模の農地  
集団を形成し、見合った機械力の  
導入を進める。狭小農地は、養魚

作目	10 a 当労働時間 (100%当年間)		10 a 当収量	
	現況	目標	現況	目標
水 稲	時間 124	時間 27	Kg 530	Kg 600
た ば こ	452	307	231	270
加工用トマト	285	252	4,200	6,000
白 ウ リ	400	320	2,500	3,000
豚	肉 豚	67	22	
	繁殖豚	466	370	

(労働時間と収量の目標)

事業種目 および名称	概算事業費 (5年間)	施行年度内訳				財源内訳(5年間)					
		第一年度 (昭49年)	二 (50)	三 (51)	参考 (52~53)	国庫補助	県費補助	町負担額	計	一般財源	特定財源
道路整備	376,980	99,880	126,500	150,600	356,200	30,400		346,580	72,900	27,280	246,400
橋りょう	40,000	12,000	28,000					40,000	10,000		30,000
交通安全対策	1,170	390	390	390	780			1,170	1,170		
除雪機械整備	13,500		4,500	9,000	22,500	6,000		5,500	2,500		3,000
克雪管理センタービル	78,270	11,613	66,657			10,000	5,000	63,270	18,270		45,000
消防施設整備	22,320	8,420	6,700	7,200	18,500	2,100		20,220	5,720		14,500
地すべり防止	212,465	58,150	90,315	64,000	126,260	141,642	70,823				
災害復旧	70,266	66,079	4,187			47,542		22,724	5,642	82	17,000
復旧治山事業	19,500	19,500					19,500				
普通河川改修	15,040	3,040	5,000	7,000	19,000			15,040	6,540		8,500
国土調査	32,700	13,200	12,606	4,894	8,634		27,259	5,461	5,461		
多目的ダム	2,000		2,000		98,000			2,000	2,000		
合 計	884,211	292,272	346,555	245,084	651,674	239,484	122,542	521,965	130,203	27,362	364,400

報連絡網の確立を行う。また、救急業務も一層強化する。

山菜などの生産に向ける。  
畑作は、当面たばこ、加工用トマト、などの安定多収をかる。

畠作も団地化を進める中で、近

代的な経営をはかる。

町の山林は、大部分が不経済な雑木林である。有用樹林への転換

をはじめ、第二次林業構造改善事業に取組み、林道網の整備とあわせて、林業の振興に努める。また、さのこ類も観光と結び、水産業は、引続いて錦鯉、食用

一、実施計画(三年間に行う事業)の給事業費は、五十九億五千

万円です。そのうち、基礎的条件整備は左表のとおりです。

山菜などの生産に向ける。  
畑作は、当面たばこ、加工用トマト、などの安定多収をかる。

畠作も団地化を進める中で、近代的な経営をはかる。

町の山林は、大部分が不経済な雑木林である。有用樹林への転換

をはじめ、第二次林業構造改善事業に取組み、林道網の整備とあわせて、林業の振興に努める。また、さのこ類も観光と結び、水産業は、引続いて錦鯉、食用



